

◆ 卒業研究 1月11日～2月19日

■ 1班「ものづくり」

ヤリスの直系の祖である「パブリカ」を教材に自動車の構造や進化の歴史を研究。様々な人たちの協力もありましたが、初めてエンジンが始動したときは飛び上がって喜びました。



■ 2班「電子・マイコン」

メモリハイコーダ、オシロスコープ、自動消毒噴霧器の3つをマイコンと電子回路で製作。なかなか思うように動作できずに苦労したこともありやっとの思いで完成したときには泣きそうになりました(訓練生談)。



■ 3班「先進技術」

顔認識して高さが自動で上下する体温表示機、声に反応して車の灯火を点灯制御させる課題に挑戦。インターネットの活用やプロジェクトFとのリモートでのヘッドランプ分解レクチャーなど今できることを工夫しながらの活動となりました。



■ 4班「工程改善」

TPS推進部の協力の下、岩手工場ボデー工程に部品の一個送り(切り出し)装置を導入しました。ラインが止まっている間に工程調査をしたり、休日工事など、現場の緊張感を肌で感じることもできました。



◆ 2日(火) 学園長講話

学園長による講話を開催。「学園の皆さんに伝えたい事」と題し、常に「だれか」のために、を考えて行動してきたというご自身の経験談を中心に、「トヨタフィロソフィー」「トヨタウェイ2020」などをキーワードにしながら様々なお話をしていただきました。



■ A・M君

講話を聞き、私は誰かのために行動すること、「ありがとう」を声に出すことを意識して行動していき、周りから頼りにされる人になりたいと思うようになりました。



自らの経験を振り返りながらのお話は、とても参考になりました。

■ S・T君

活動を振り返ってみて、1年間学んできた知識・技能を活かして活動することができました。卒業後もこれまで学んできたことを最大限に活かすことができるように努力し続けます。

◆ 25日(木) 卒業研究報告会

白根会長、宮内社長、石川取締役にて1年間の訓練の成果として、卒業研究報告を行いました。報告の様子はQ-Pitで同時配信を行いました。



会長コメント抜粋「卒業研究テーマも様変わりした。時代の流れを皆さんは示してくれた。」